



神話と伝説、古代文化が薫る道

比婆いざなみ街道

「比婆いざなみニュース」限定、2つの**お得情報**が載っています！
「比婆いざなみ街道」に出かけよう！

高野 比和 西城



東城

比婆

いざなみ

ニュース

9月創刊
(2017.9)
vol.02

年5回【7月・9月・11月・1月・3月】発行

「比婆いざなみ街道」沿線の地域資源について、旬な情報をお届けします。

比婆いざなみニュースの設置先

「比婆いざなみニュース」は、市内の公共施設、商業施設、観光施設、宿泊施設に設置しています。

特集

比婆いざなみ街道沿線の

りんご

●取材先／
長妻章司りんご園
(高野町)



赤く色付き始めたりんごの実(品種:みちのく)

比婆いざなみ街道沿線地域(庄原市高野、比和、西城、東城町)はりんご栽培に適した地が多く、りんごの生産が盛んです。これから本格的な収穫シーズンを迎える、高野町のりんご園を訪ねました。

おいしいりんごが育つ条件は、朝晩の気温の寒暖差があること。高野町は、古くからりんご栽培に適した地とされ、明治40年頃に初めて苗木が植えられ、昭和初期には本格的に栽培が始まりました。西日本では最も古い歴史があると言われること、また、あまり市場に出回らないため「幻のりんご」と呼ばれる高野町のりんご。秋になるとその味の虜となった多くの方が訪れ、直売所は賑わいます。店頭には旬の品種が並ぶのは9月下旬から11月上旬頃まで。観光りんご園に足を運び「幻のりんご」を味わってみませんか？



昭和10年に植えられた苗木は今もおいしい実をつけます。(品種は陸奥)



昭和10年に植えられた木

りんご園の情報は「庄原市観光協会」へお問い合わせください。
TEL 0824-75-0173

摘果作業を行う長妻さん(高野町果樹園芸組合組合長)。

限定お得情報①

比婆いざなみニュース9月号を持って、平成29年10月31日までに高野町内の観光りんご園に訪れた方へ

1団体につき5名まで入園料
(通常600円が540円)

10%引き

※りんご狩りができるりんご園は
○長曾りんご園 ○島津りんご園 ○青オリンご園 ○田辺りんご園
○長妻章司りんご園 ○大坂りんご園の6箇所です



「比婆いざなみ街道」基礎知識

知る

「比婆山伝説」

日本神話に関する伝説の地として知られる「比婆山御陵」。1300年前にまつめられた「古事記」は、日本誕生の女神、伊邪那美命(イザナミノミコト)を「比婆之山」に葬ったと記しています。地域の人々は「比婆山伝説」を伝承し、大切に守ってきました。



『伊邪那美命』が葬られたとされる比婆山御陵(庄原市西城町、比和町)

最初の夫婦神「イザナキ」と「イザナミ」は、日本の国土を産み、多くの神々を産みますが、最後に火(製鉄)の神様を産んだ時、イザナミはひどい火傷を負い亡くなります。イザナキは、妻のイザナミが恋しくて、黄泉の国へ逢いにいきます。「いとしの妻よ、我々の国はまた作り終えていない。さあ帰ろう。しかし…」

次号へ続く

